

| | | | |
|---------|----|---|--|
| | 12 | 1 研削加工 2 研磨加工 第8章 特殊加工と表面処理 1 特殊加工 2 表面処理 ＜期末考査＞ | <ul style="list-style-type: none"> 研削加工のしくみについて理解する。 ホーニングやライニングなど、砥粒を使った仕上げ加工法について理解する。 特殊加工と表面処理の概要について理解する。 放電加工のしくみについて理解する。 液相めっきおよび気相めっきのしくみについて理解する。 |
| 3 学期 | 1 | 第9章 生産の自動化 1 数値制御工作機械 2 産業用ロボット 3 工場の自動化 | <ul style="list-style-type: none"> 生産の自動化の概要について理解する。 NC旋盤やマシニングセンタなど代表的なNC工作機械について理解する。 産業用ロボットのしくみについて理解する。 組立作業の自動化のしくみについて理解する。 |
| | 2 | 第10章 工業計測 1 計測の基礎 2 実際の計測 ＜工業基礎学力テスト＞ | <ul style="list-style-type: none"> 工業計測の概要が理解できるように留意する。 定量的な表しかたと定性的な表しかた、計測と測定、直接測定と間接測定、絶対測定と間接測定などについて理解する。 |
| | 3 | 第11章 生産管理 1 設計から生産まで 2 管理システム 3 環境と生産システム ＜期末考査＞ | <ul style="list-style-type: none"> 長さの計測方法について理解する。 生産管理の概要について理解する。 環境に配慮した製品設計について理解する。 工程管理の目的・方法について理解する。 環境に関する国際標準規格について理解する。 |

2. 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、次の4つの観点から行います。

| | | |
|----------|--|--|
| 関心・意欲・態度 | 機械工作に関する諸課題について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。 | <ul style="list-style-type: none"> 出欠席状況 ノートづくり 授業態度 |
| 思考・判断・表現 | 機械工作に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。 | <ul style="list-style-type: none"> ノートづくり 授業態度 発問や発表態度 表現方法 |
| 技能 | 機械工作に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、安全や環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。 | <ul style="list-style-type: none"> ノートづくり 授業態度 |
| 知識・理解 | 機械工作に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における工業の意義や役割を理解している。 | <ul style="list-style-type: none"> 定期考査 工業基礎学力テスト 小テスト 課題の提出状況 |

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします。

- 授業に参加する関心・意欲・態度が良好であること。
- 授業の欠席が少なく、ノートをとることができること。
- 定期考査、小テスト、工業基礎学力テスト（機械工作の範囲）において合格点に達していること。
- 課題提出が決められた期日に提出できること。
- 意欲的に授業に取り組み、自分の考えを述べる（質問・発言等）ことができること。

また、1年間の評定は、1学期～3学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します。

3. 特に強調しておきたい点（留意すべき点・担当者からのメッセージを含む。）

- 板書を写したり、覚えることの多い科目です。故に、授業中の態度や姿勢が評価に大きく影響します。
- 機械系の基礎・基本を学ぶ科目です。積極的に授業に参加しましょう。